

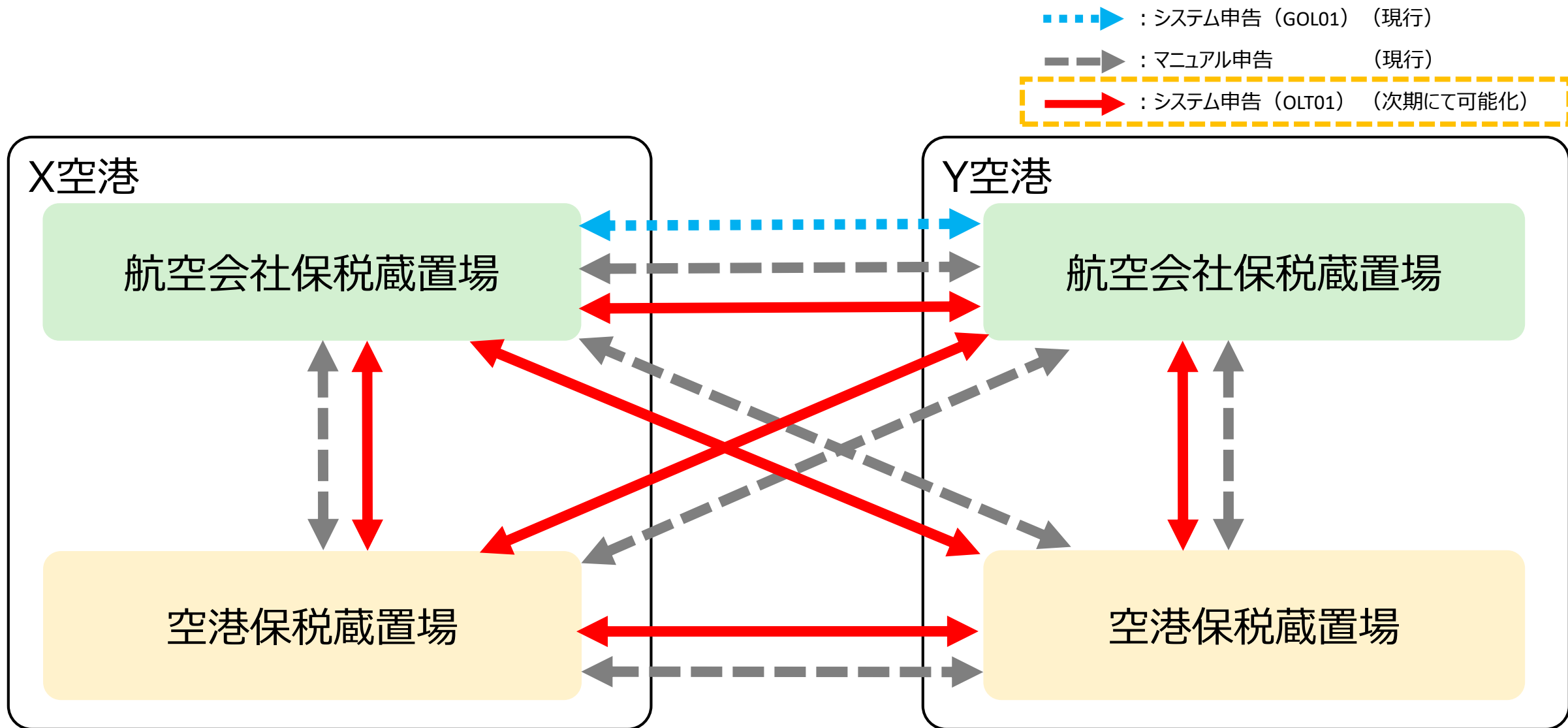
# (5) 航空貨物における仮陸揚関連業務の改善 < 2 >



2022年11月10日  
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

項番	案件名	概要
A	混載仮陸揚貨物の仕分け・仕合せ (第16回 第7次NACCS合同作業部会 (WG) にて提示済)	混載仮陸揚貨物の仕分け・仕合せをシステムで一貫して手続可能にする。
B	仮陸揚貨物の「空港間運送」の可能化	混載仮陸揚貨物の空港間の保税運送をシステムで手続可能にする。
C	同一空港内の航空会社以外の保税蔵置場への保税運送の可能化	航空会社蔵置場における仮陸揚貨物の搬出先として、航空会社蔵置場以外の蔵置場も選択可能とする。

「B.仮陸揚貨物の「空港間運送」の可能化」、「C.同一空港内の航空会社以外の保税蔵置場への保税運送の可能化」に係る保税運送が可能となるルートは以下のとおり。



# A.混載仮陸揚貨物の仕分け・仕合せ (第16回 第7次NACCS合同作業部会 (WG) にて提示済)

第16回WGで  
提示済

区分	概要
1. 検討項目	航空貨物における仮陸揚関連業務の改善（混載仮陸揚貨物の仕分け・仕合せ）
2. 変更要望	仮陸揚貨物の仕分け・仕合せについては、「輸出貨物取扱登録（仕分け）（AHS01）」業務および「輸出貨物取扱登録（仕合せ）（AHT01）」業務の仕様上、輸出貨物情報DBチェック欄に「仮陸揚貨物でないこと」があるため実施できない。チェックを外し、混載仮陸揚貨物の仕分け・仕合せを可能とする。
3. 次期仕様	「輸出貨物取扱登録（仕分け）（AHS01）」業務および「輸出貨物取扱登録（仕合せ）（AHT01）」業務で仮陸揚貨物および混載仮陸揚貨物の仕分け・仕合せをできるようプログラム変更する。

## A-2. 現行仕様

### 現行仕様概要

「輸出貨物取扱登録（仕分け）（AHS01）」業務および「輸出貨物取扱登録（仕合せ）（AHT01）」業務は、「仮陸揚貨物でないこと」のチェックを実施しており、仮陸揚貨物に対する仕分け・仕合せの登録ができない。

第16回WGで  
提示済

## 変更概要①

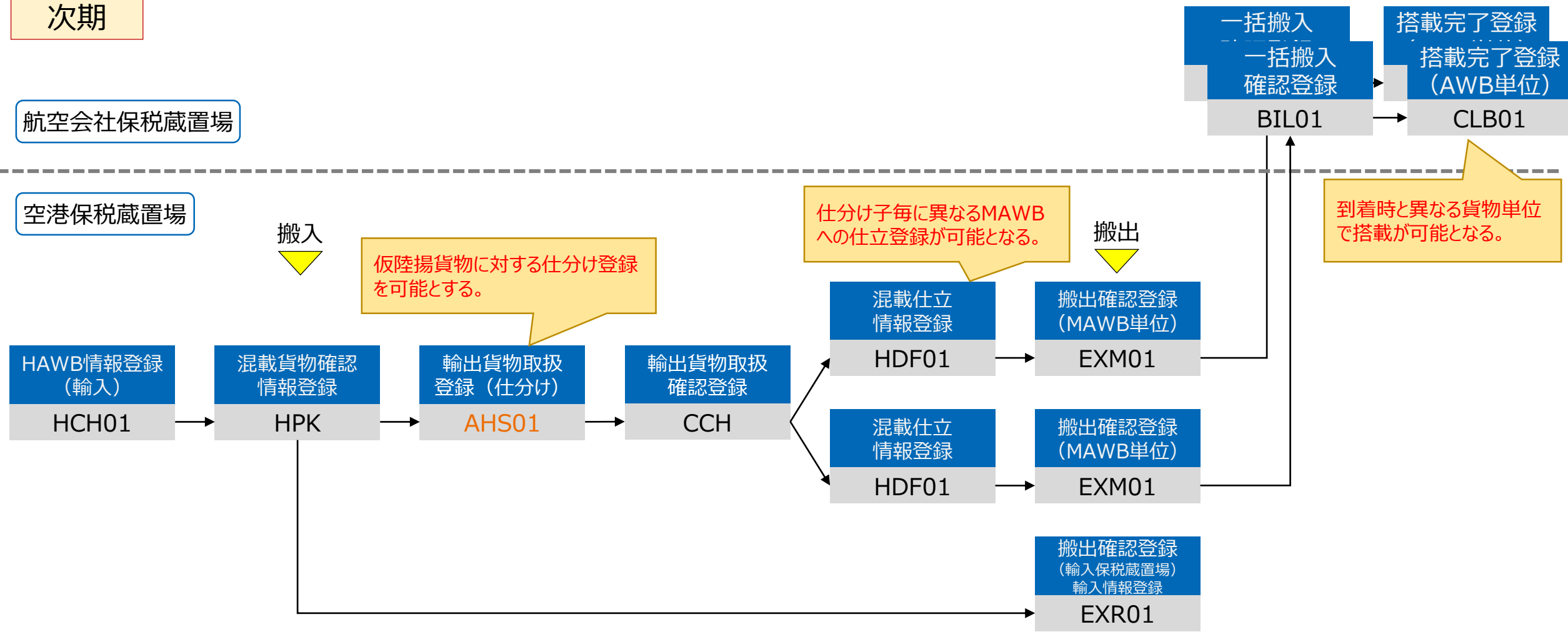
「輸出貨物取扱登録（仕分け）（AHS01）」業務において仮陸揚貨物に対する仕分けの登録を可能とする。

第16回WGで  
提示済

次期

航空会社保税蔵置場

空港保税蔵置場



## 変更概要②

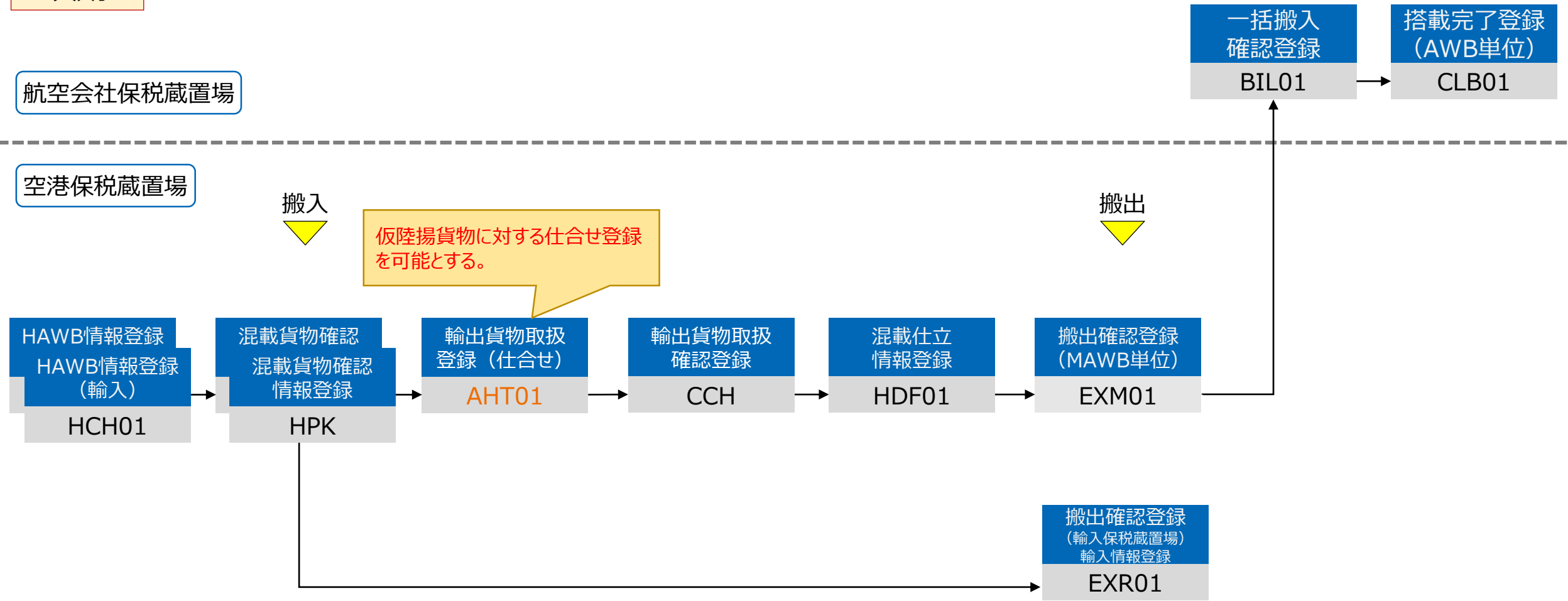
「輸出貨物取扱登録（仕合せ）（AHT01）」業務において仮陸揚貨物に対する仕合せの登録を可能とする。

第16回WGで  
提示済

次期

航空会社保税蔵置場

空港保税蔵置場

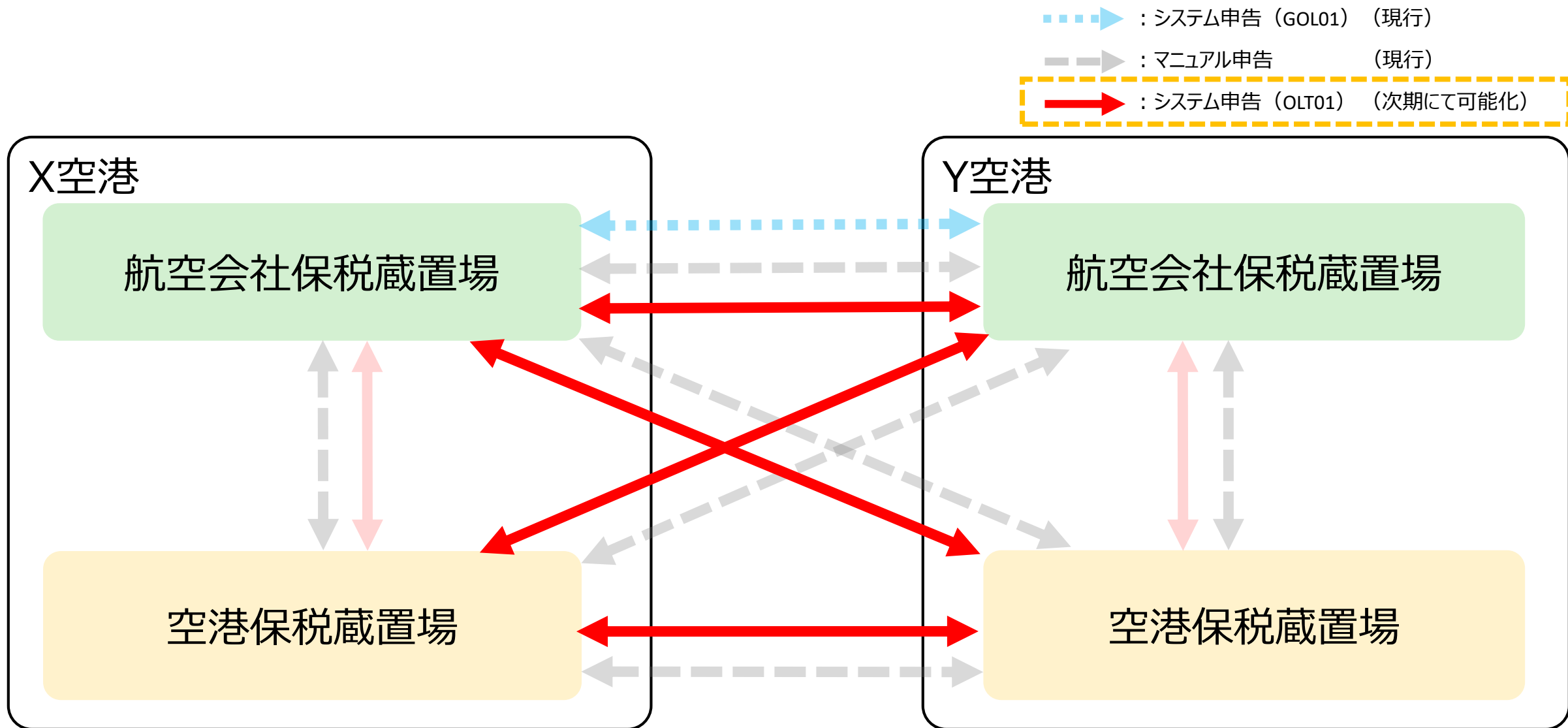




## B. 仮陸揚貨物の「空港間運送」の可能化

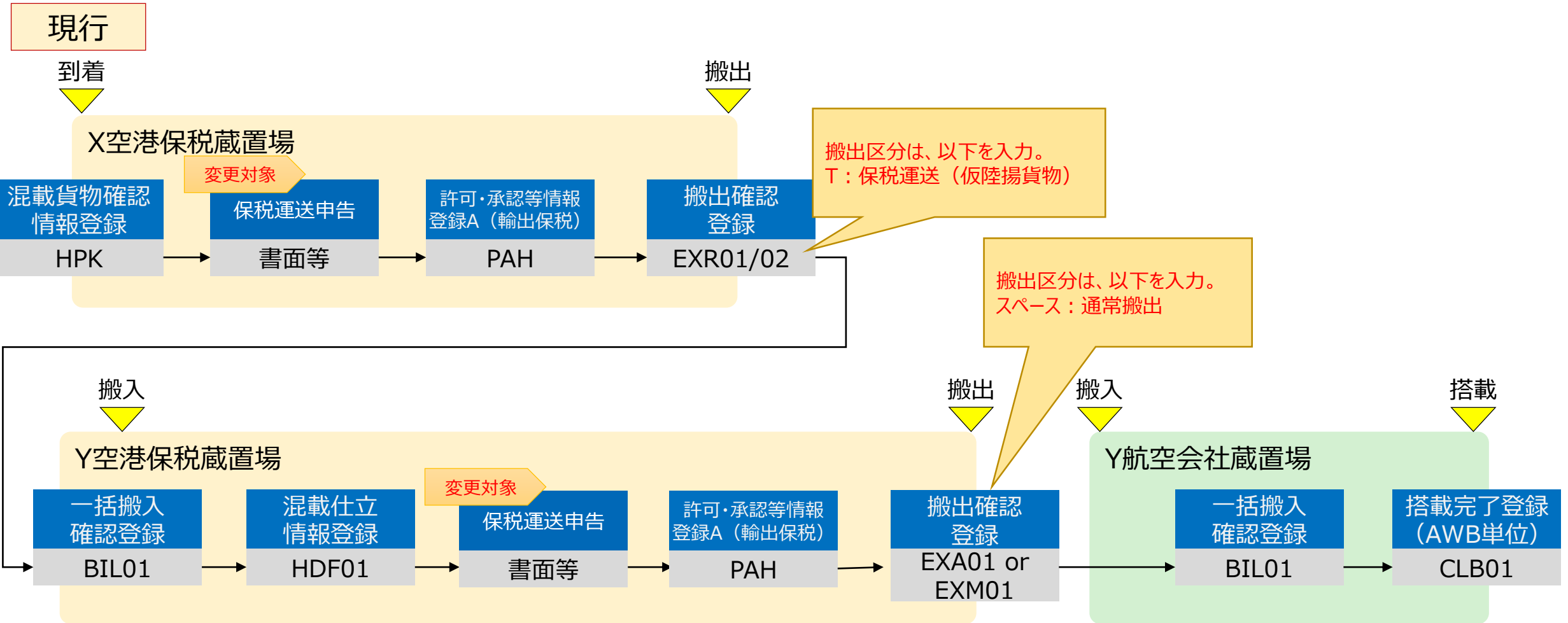
区 分	概 要
1. 検討項目	航空貨物における仮陸揚関連業務の改善（仮陸揚貨物の「空港間運送」の可能化）
2. 変更要望	混載仮陸揚貨物の空港間における保税運送申告をシステム上で実施できるようにする。
3. 次期仕様	「保税運送申告（一般）（OLT01）」業務において、混載仮陸揚貨物の空港間の保税運送申告を可能とする。 また、同一空港内の保税運送申告についても可能とする。

「B.仮陸揚貨物の「空港間運送」の可能化」に係る保税運送が可能となるルートは以下のとおり。



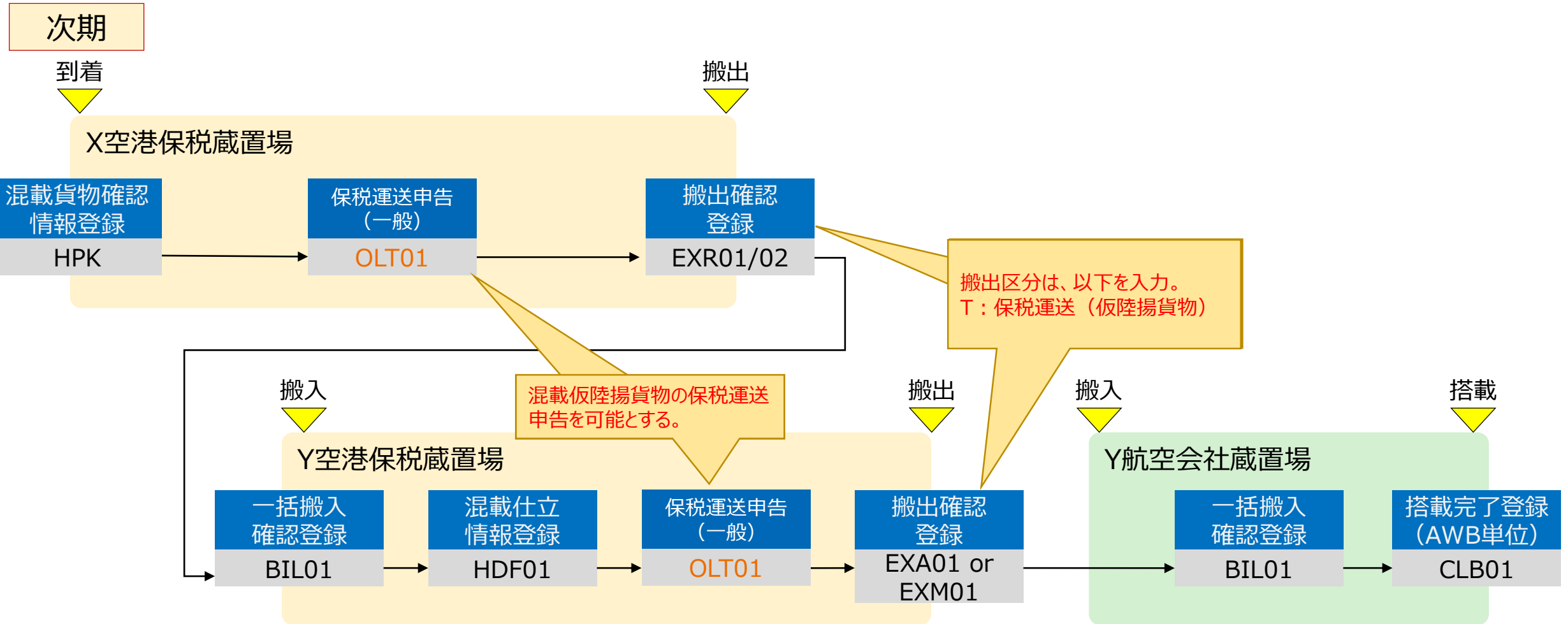
## 現行仕様概要

混載仮陸揚貨物の空港間運送においては、マニュアルで保税運送申告している。



## 変更概要 (業務フロー)

「保税運送申告 (一般) (OLT01)」業務において混載仮陸揚貨物の空港間における保税運送申告を可能とする。



## 変更概要 (OLT01業務)

「保税運送申告 (一般) (OLT01)」業務に対し、以下の変更を行う。

- ① 既存の運送種別「K:仮陸揚貨物運送 (海上からの移送貨物)」を「K:仮陸揚貨物運送」に改め、海上からの移送貨物以外の仮陸揚貨物についても、保税運送申告の登録を可能とする。
- ② 仮陸揚貨物 (海上からの移送貨物を除く) に対する申告の場合、入力された運送先が、航空会社保税蔵置場または空港保税蔵置場であることのチェックを追加する (空港域外の保税蔵置場は入力不可)。

種別を以下の形に改め、「K」を入力することで、仮陸揚貨物に対する保税運送申告を可能とする。

スペース：一般運送  
 R：積戻し未通関貨物の運送  
 K：仮陸揚貨物運送 (海上からの移送貨物)

<留意点>  
 運送先は、航空会社保税蔵置場または空港保税蔵置場のみ入力可。

OLT01 保税運送申告 (一般)

ファイル(E) 表示(V)

申告先税関官署  包括保税運送承認番号

運送種別  AEO識別  発送場所\*  運送具\*

運送先\*

記事

AWB番号                      CIF

01	<input type="checkbox"/>	123 - 45678901	<input type="text"/>
02	<input type="checkbox"/>	123 - 45678902	<input type="text"/>
03	<input type="checkbox"/>	123 - 45678903	<input type="text"/>

包括保税運送承認にかかる個別運送の登録も可能とする。  
 この場合、包括保税運送承認番号を入力する。

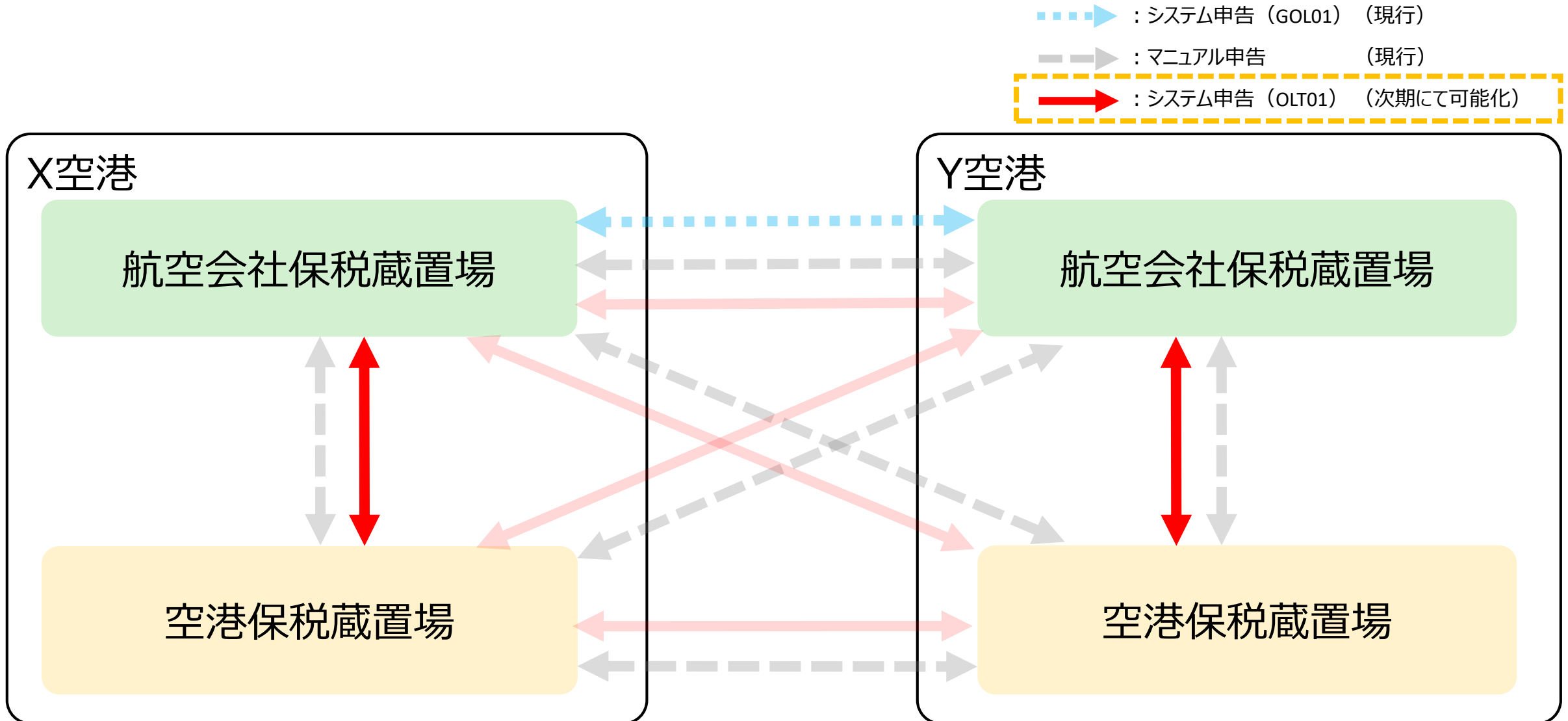
運送種別 K  
 運送先\* 1A456

# C.同一空港内の航空会社以外の保税蔵置場への保税 運送の可能化

区 分	概 要
1. 検討項目	航空貨物における仮陸揚関連業務の改善 (同一空港内の航空会社以外の保税蔵置場への保税運送の可能化)
2. 変更要望	仮陸揚貨物において、航空会社保税蔵置場から航空会社保税蔵置場以外への運送ができないため、当該運送を可能とする。
3. 次期仕様	「保税運送申告（一般）（OLT01）」業務において、仮陸揚貨物に対する航空会社保税蔵置場から航空会社保税蔵置場以外への保税運送申告および後続の搬出入業務を可能とする。



「C.同一空港内の航空会社以外の保税蔵置場への保税運送の可能性化」に係る保税運送が可能となるルートは以下のとおり。

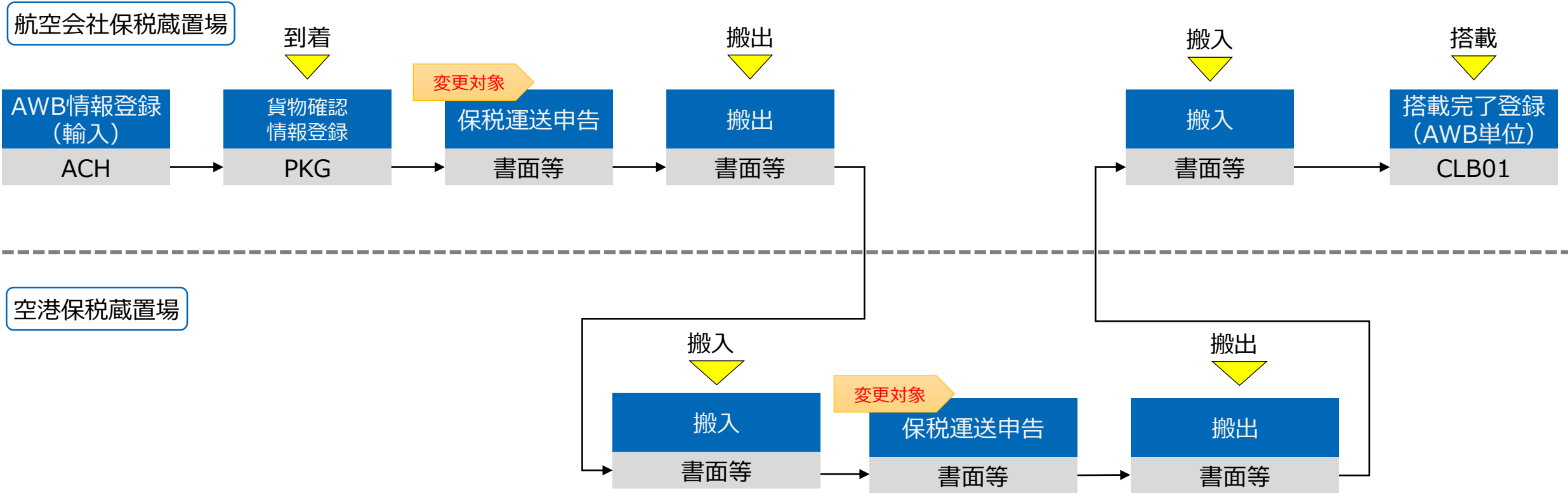


## 現行仕様概要

仮陸揚貨物は、航空会社保税蔵置場から航空会社保税蔵置場以外に運送することができない。

※航空会社保税蔵置場から他の航空会社保税蔵置場への運送（トランスファー）は可能。

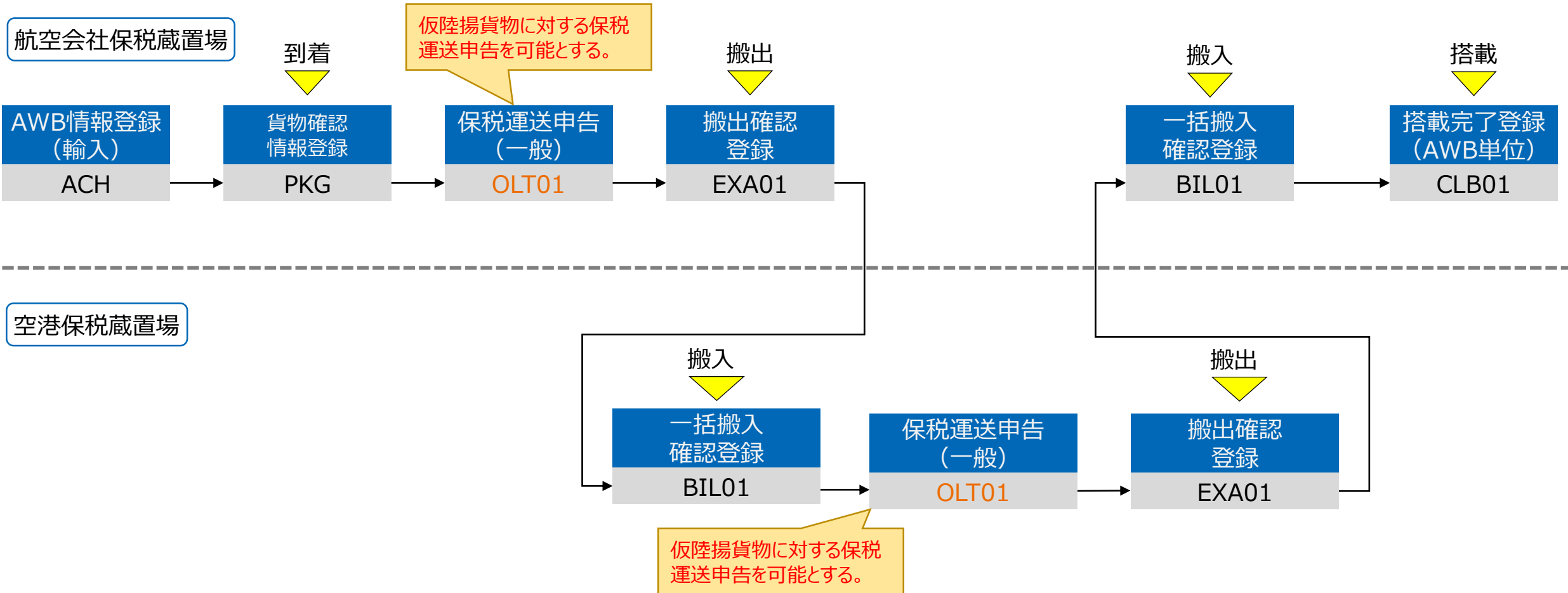
現行



## 変更概要 (ストレート仮陸揚貨物のフロー)

「保税運送申告 (一般) (OLT01)」業務においてストレート仮陸揚貨物の空港内における保税運送申告を可能とする。

次期



## 変更概要 (混載仮陸揚貨物のフロー 通常運送パターン)

「保税運送申告 (一般) (OLT01)」業務において混載仮陸揚貨物の空港内における保税運送申告を可能とする。

次期

航空会社保税蔵置場

搬入

搭載

一括搬入  
確認登録

搭載完了登録  
(AWB単位)

BIL01

CLB01

空港保税蔵置場

到着

搬出

HAWB情報登録  
(輸入)

混載貨物確認  
情報登録

混載仕立  
情報登録

保税運送申告  
(一般)

搬出確認  
登録

HCH01

HPK

HDF01

OLT01

EXR01/02

仮陸揚貨物に対する保税運送申告  
を可能とする。

## 変更概要（混載仮陸揚貨物のフロー 空港保税蔵置場に戻すパターン）

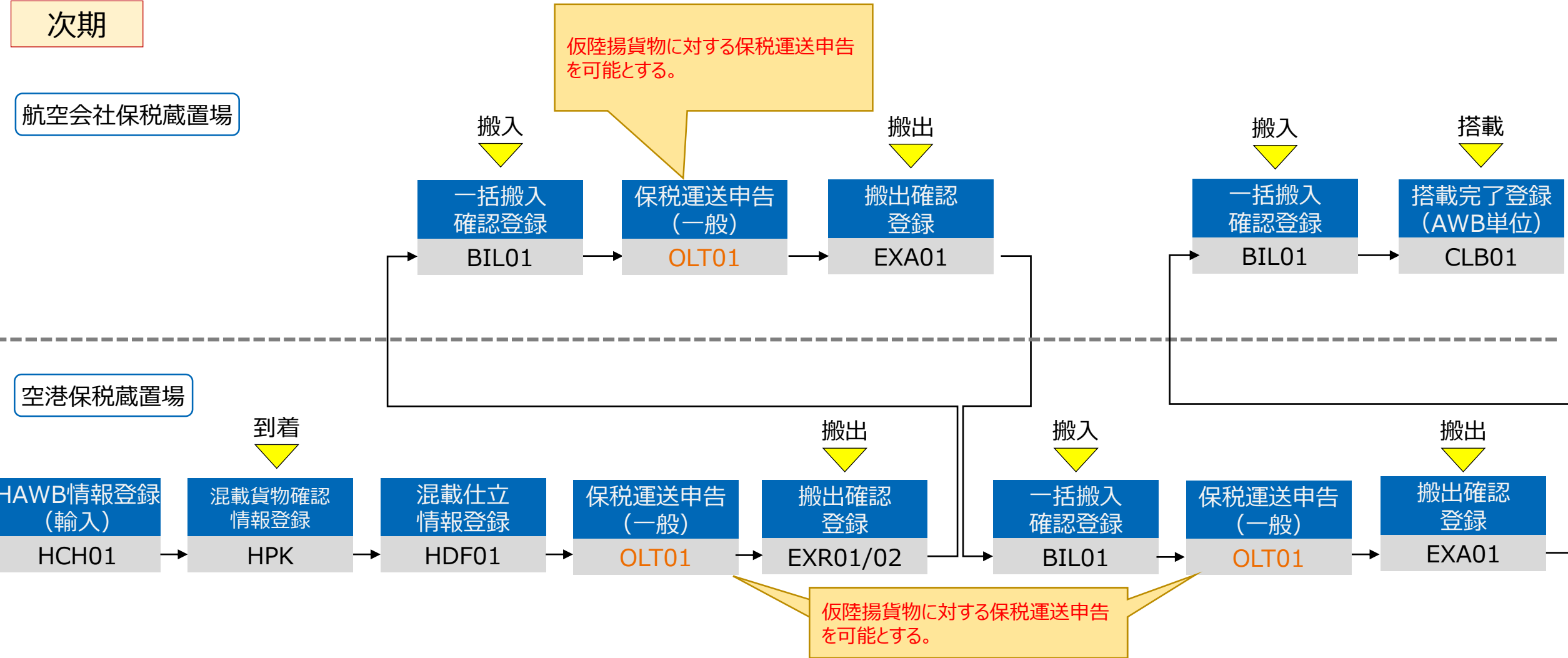
「保税運送申告（一般）（OLT01）」業務において混載仮陸揚貨物の空港内における保税運送申告を可能とする。

次期

航空会社保税蔵置場

仮陸揚貨物に対する保税運送申告を可能とする。

空港保税蔵置場



変更概要 (OLT01業務)

本資料P13と同様のため省略